

東京オリンピック・
パラリンピック担当大臣
下村博文様

国の施策等に関する 提案・要望書

(平成26年4月)

鳥取県

パラリンピックナショナルトレーニングセンター 競技別強化拠点の指定について

《提案・要望の内容》

- 鳥取県では、2020年東京パラリンピックに向け、一体的な推進体制の下で、競技力・指導力の向上、トレーニング拠点等の誘致に取り組んでいる。については、本県のスポーツ施設をパラリンピックナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に位置づけること。

<参考> 鳥取県における2020年東京パラリンピックに向けた取組

【推進体制】

- 学校体育以外のスポーツ関係を教育委員会から知事部局に移管し、あわせて障がい者スポーツの競技力向上分野も一元化。（文化観光スポーツ局スポーツ課の設置）
- 本県の行政とスポーツ関係団体のトップを集めた「鳥取県スポーツ戦略会議」を設置し、この中で、障がい者スポーツの強化についても検討。

【競技力・指導力の向上】

- 障がい者スポーツの競技力向上に県単独で予算（13,545千円）を確保。
- 県が独自に公費を投入して強化選手指定を行っているのは、他の都道府県では見られない鳥取県独自の取組。
- 障がい者スポーツの指導者の指導力向上・指導体制の充実を図るとともに、障がい者スポーツの競技力向上の取組を強化。

【トレーニング拠点誘致に向けた調査研究】

- 2020年東京パラリンピックに向けたナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点の誘致に向け、調査研究に県単独で予算（1,000千円）を確保。